

小学生版

あたらしい児童書 NO. 311 2025. 8. 8

遠軽町図書館
遠軽町大通南4丁目
TEL42-3632
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。
小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『がっこうのおばけずかん トイレのみらこさん』 齊藤 洋／作

・がっこうには、こわ～いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めば、だいじょうぶ! 「バットバット」をはじめ、「くもおんな」「トイレのみらこさん」など、がっこうのこわいおばけの話全7話を収録。(小初)



『ふしぎなつうがくろ 水玉もよう』 花里 真希／さく

・溝を流れる花いかだを見ていた1年生のまおが、溝に落ちそうになりました。ひろとが助けようとする、ふたりの体が小さくなって…。春夏秋冬、2年生のひろとが通学路で出会う素敵で不思議な体験。(小初)



『ONE DAY』 マイケル・ローゼン／文

・ナチス・ドイツに占領されたパリに住むユダヤ人ユージン。数えきれないほどのユダヤ人が命を落とすなか、ユージンと父親のオスカーは闘い続け…。風化させてはいけない戦争の記憶を描く。(小初)



『ひろしま絵日記』 中澤 晶子／作

・小学2年生のみなみちゃんは、ひいおばあちゃんの家で古いノートを見つけます。それは、ひいおばあちゃんの妹、まあちゃんの日記でした。日記には、みなみちゃんの知らない戦争中の暮らしが書かれていて…。(小初、小中)



『パンツのひもゆるざえもん』 森くま堂／作

・「皆の衆、耳の穴かっぽじって聞いとくれ。のんきなひもが、いかにして、かの有名な“パンツのひもゆるざえもん”になったかを!」村をあげての祭りの日に、あやしい男が鳥居のそばで話し始め…。(小初、小中)



『まだまだここから』 宇佐美 牧子／作

・水泳がちょっぴり得意な小学4年生の男の子・蓮に、スイミングスクールの特訓生になるチャンスが訪れた。でも受かったのは、がんばっていた蓮ではなく、弟の凧で…。「がんばる意味」を見つけていく、少年の気づきの物語。(小中)



『さくら図書館のひみつ』 西村 友里／作

・まさか、ぼくがタイムスリップ!? 自分の名前が書かれた古い本が次々と見つかり、知っているはずのないことをひいおじいちゃんから言われた悠也は、その謎を解くため、さくら図書館に向かい…。(小中、小上)



『チーム・テスならだいじょうぶ』

カービー・ラーソン・クイン・ワイアット／作

・手作りお菓子作戦で友だちを作ることに成功した、中2の転校生テス。菓子作りコンテストに出場するテスを応援する「チーム・テス」が結成されるが、テスは腹部の激痛に耐えられなくなり…。クローン病の女の子が主人公の物語。(小上)



『ぼくへのレファレンス』 岩崎 まさえ／作

・図書館での職場体験で、謎の少年から、不思議な形の記号に関する資料を調べてほしいというレファレンスを受けたリョウ。郷土史研究家を名乗るおじいさんから、記号に隠された秘密を教えてもらい、現地調査にむかうことに…。(小上)



『中受』 工藤 純子／著

・難関都立中学を受ける新、自分に合った私立中学を探す広翔、小6の12月にAO入試を知るつむぎ…。三者三様の動機と道のりから、加熱する中学受験のリアルを描き出す。(小上)



『ヨークシャーの丘の幽霊』 マーカス・セジウィック／作

・ヨークシャーへ家族旅行に来たジェイミー。だが問題を抱える家族の心はばらばら。一家の先祖だという女の子の幽霊に出会った彼は、自分に関わる驚くべき事実を知り…。サスペンス形式で十代の少年を描く、心ふるえる物語。(小上)



『まるみかん大一番』 まはら 三桃／作

・丸美市立みんなの図書館、通称「まるみかん」。創設50周年を迎えたばかりの「まるみかん」だったが、ある日突然閉館することが決定した。小6の研心ら、まるみかん利用者たちは、閉館を止めるために力を合わせて声をあげ…。(小上、中)



『花の子どもたち』 小手鞠 るい／作

・アメリカ・ニューヨーク州郊外の中学校に入学した權。英語にもまだ自信がないのに、討論会の出場メンバーのひとりに選ばれてしまった。テーマは銃規制について。7人の子どもたちは、どんな結論を導くのか。(小上、中)



『リセッTLーム』 はやみね かおる／著

・シロクマ探偵の助手をしている“ぼく”は、人生をリセットできるという「リセッTLーム」に入るためのテスト生に選ばれた。夜の学校で、入室資格をかけた選抜テストが開始されるが、謎の侵入者が現れ…。(小上、中)



『ゾウのテウニス』 トーン・テレヘン／作

・なんで、僕だけ違うんだろう？ テウニス(テニス)は、人間に囲まれて暮らすゾウの男の子。クラスのみんなには簡単なことが、テウニスにはできなくて…。オランダの国民的作家による、<ヘン>と<ふつう>をめぐる物語。(小上、般)

